

(三) 労働團体主催争議會講演會等

開會月日	主催團體及名稱	場所	聽眾人數	備考
十月 七日	愛知時計會社 労働争議批判 報告會	名古屋市中区本丸 時計工場前	約二五〇名 (聽眾半數)	山城常吉翁十名 (後附)
十八日	工作會議 立初二	京橋通四番町河井 洋服店	五百名	長谷川元吉(就業) (不詳)
	年賀會	年賀會	一至二千名	寺内義陽(不詳)
	年賀會	年賀會	二千名	寺内義陽(不詳)

## 第二 労働争議

### ① 愛知時計電機會社争議

名古屋市中区東川端町愛知時計電機株式會社八職工九百餘名有時計及軍需品、衣造從事ノ居六月一日以來職工間ニ動搖、色アリ。十四日午后五時職工退社時刻ヲ利用シ全會社前及守津木橋畔外一所、「職工大會」云々ト題シ貼紙ヲナセルモノリシテ以テ職工約三百五十名ハ今日午後七時市内南区熱田字沃上東町大蔵篠原堂ニ集合左記事項ヲ決議シ河村鶴麿外八名ヲ委員ニ選り會社ニ文書不ルニシ若レ會社ニ於テ三日以内ニ通じ算入應答ヲナシリ場合ハ斷然同盟罷業、拳ニ出テ又會社ト交涉中職工一同ハ急業ヲナシテ車倉三十時散會セリ。

而ニ会社職工が今田斯カル奉出タル原因ハ九月二十八日權兵船渠株式會社爭議、應接ニ赴キタル職工河村鶴麿が十月一日帰來本地爭議、